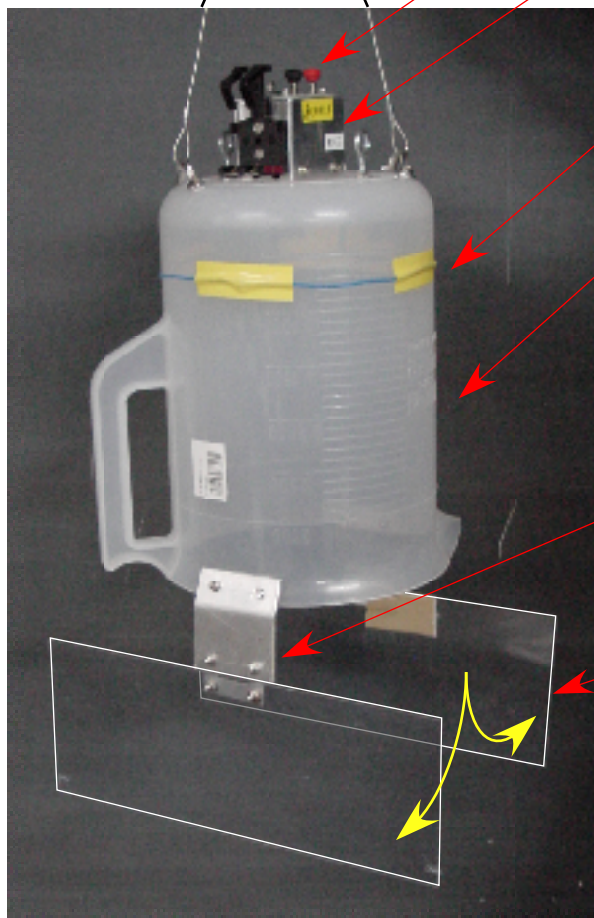


九州大学CanSat遠隔放出機構

Kyushu University CanSat Remote Ejection Mechanism



地上からの無線リモコン操作で、放出扉を抑えているテグスを焼き切り、CanSatを投下します。



電熱線

リモコン受信機

電波 : 微弱電力315MHz
電源 : 006P電池 (9V)

受信アンテナ

半波長ダイポール

キャリア構体

寸法 : 内径150mm × 高さ220mm
(ほぼオープンクラスCanSatのサイズ)
素材はポリプロピレン製ビーカー (3ℓ)
見た目は変だが軽くて丈夫
取手がついて運搬にも便利

延長金具

キャリアより長いCanSatを搭載する場合に使用 (本機では4.5cm延長)

放出扉

観音開きで開きます

オプションで、小型ワイヤレスカメラを搭載し、CanSat放出時の動画を撮影することも可能。これで、放出直後のパラフォイルの挙動を観察すると、展開不具合の対策に有効です。

諸元

重量

本体 : 650g (電源 006P × 1個 込み)
カメラ : 320g (電源 単三 × 8本 込み)

通信距離

リモコンの限界は未確認
空中で高度100mまで実証済み
地上で水平距離200mまで実証済み

問い合わせ先

九州大学・平山寛 (hira@aero.kyushu-u.ac.jp)